# 省エネルギー業界No.1エアコン“ツインPAM霧ヶ峰 MSZ-LX28B”

エアコンの未設置部屋は全国に約１億部屋以上あり，それらの部屋に対する消費者の設置意向は極めて高い。当社は，“１部屋１台時代の到来”に備え，1998年度から業界に先駆けて部屋別最適化エアコン（部屋コン）を展開している。99年度はこの路線を更に強化・拡大し，業界トップの省エネルギー性を誇る“ツインPAM霧ヶ峰MSZ-LX28B形”エアコンを開発した。

霧ヶ峰MSZ-LX28Bは，10畳程度のリビングルームに対応し，ワイドボディで実証済みの省エネルギー技術と気流制御技術によって業界トップの省エネルギー性と快適性を両立している。その技術は，平成９年度の“省エネバンガード21通商産業大臣賞”を受賞したMSZ-LX32A形の適用技術を更に進化させている。

## 1. 製品の主な特長

(1) 業界トップ21,200円の年間電気代を実現

(2) 業界最高水準の高暖房能力(5.9kW)を実現

(3) マルチワイド気流で，広いリビングも隅々まで快適

## 2. 製品に導入した技術

(1) “ツインPAM(Pulse Amplitude Modulation)”(ハイパワーを実現する“ハイパワープロセッサ”と省エネルギーを生み出す“省エネルギープロセッサ”のツインプロセッサによる新制御技術)と“ハイブリッドデフロスト”で省エネルギー性と暖房快適性を両立

当社独自のツインPAMは，コンバータ部でより高い電圧に昇圧し，モータが高速で回転したときに発生する電圧降下を防止して高い暖房能力を実現する高性能なPAMと，滑らかな電圧波形制御で電気ロスを抑制するリップル制御を導入したPWM(Pulse Width Modulation)を同時に制御している。さらに，低速から高速まで高効率で運転するツインロータリ圧縮機と組み合わせることで，従来機種に対し大幅な省エネルギーと暖房快適性を両立している。

(a) その実力は，98年度の同クラス業界トップ省エネルギー機と比べ，年間電気代を約13%，3,200円も改善している。10年前の機種と比較するとその差は更に拡大し，約61%，33,000円もの改善となる。

(b) 大幅に省エネルギー性を高める一方で，暖房能力は10年前の機種の約1.8倍と高く，−15℃の外気温度でも4.3kWという業界最高水準の能力となっている。

(c) さらに，霜取りにホットガスデフロスト方式とリバース方式を併用した“ハイブリッドデフロスト方式”を採用し，霜取り時の室温低下量，霜取り前の室温までの復帰時間，及び霜取り時の消費電力量を，リバース方式の場合に比べて約1／3に抑え，暖房快適性と大幅なエネルギー性を実現している。

(2) マルチワイド気流で快適空間３倍

次に示す気流制御と組み合わせた“マルチワイド気流”で従来機種に対して約３倍の快適空間を作り出し，ワイドリビングに適したエアコンになっている。

(a) LXならではのワイドボディを最大限に生かすために，左右ベーンに“スライダーベーン”を搭載し，左右160°に広がる“ワイド気流”を実現した。

(b) また，“風ロング”ボタンをリモコンに設け，上下風向・風量を自動で制御している。この制御で風の到達距離を従来機種の約２倍まで広げ，ワイドリビングの生活エリア変化に対応した。

(c) さらに，快適な健康気流を実現するために，“風ウイング”ボタンをリモコンに設け，室内機の左側／右側／全方向にスイングが可能である。